

COUNT DOWN PARTY 2022-2023

出演アーティスト

■JIRO YOSHIDA 吉田次郎 : ギター



4歳でピアノ、5歳でギターを始める。1983年渡米、パークリー音楽院卒業後は同学院講師も務め、1990年よりNYでの活動を本格的に始動。レコーディング及びツアーサポートにおいては、ポール・マッカートニー、シンディー・ローパー、ジェニファー・ロペス、福山雅治、CHEMISTRY、須川信也等、ジャンルを超え幅広く活動。これまでに参加したアルバムは1万枚以上に及ぶ。また音楽監督として記録映画の部門で2度グラミー賞にノミネート。2003年には国連 WAFUNIF 親善大使に任命される。2016年4月ソニーミュージックよりマリーン、クリヤ・マコトとジャズ界のビッグネームによる強カトリオ「THREESOME」にて、全曲無修正 DSD レコーディングされたアルバム『CUBIC MAGIC』リリース。2016年度の最優秀録音賞に選出される。2022年ユニバーサルミュージックよりリリースしたマリーンニューアルバム『MARLENE' s SONGBOOK』～ MEMORIES for TOMORROW ～プロデュース。第28回日本プロ音楽録音賞 Best Sound 部門にて優勝賞受賞。

■クリヤ・マコト : ピアノ



米ウェストバージニア大学言語学科を卒業後、ピッツバーグ大学にてジャズ講師を務め、東海岸各地でジャズピアニストとして活動。グラミー受賞者チャック・マンジョーネGに参加するほか、ジェームズ・ムーディー、ドナルド・バードなど多くの巨匠と共演。帰国後これまでに20枚以上のリーダー作を発表。

最新作「ACOUSTIC WEATHER REPORT」1・2は、ジャズトリオ作品として異例のヒットを記録。10回を超える欧州ツアー、豪州、ブラジル、インド、モロッコ、台湾、エジプト公演など、常にワールドワイドな活動を展開。また平井堅、八代亜紀などポップスの作編曲、TVテーマ曲、映画音楽でも活躍中。「新世紀エヴァンゲリオン」のテーマ曲&劇伴に初期TVシリーズより演奏参加。現在はBS-TBS「報道1930」、NHK神戸の報道番組「Live Love ひょうご」の音楽を担当。BS日テレの異色歌謡番組「今宵☆jazzy に!」で編曲&バンドリーダーを担当。

■EMMA WAHLIN エマ・ウォーリン : ボーカル



スウェーデン/日本出身の天才シンガー EMMA は、抜群の歌唱力と表現力でとても十代とは思えないズバ抜けたアーティスト力を持つシンガー。幼少期にアメリカ、ヨーロッパ、アジアで生活し、グローバルな創造性を育んだバックグラウンドを持つ。K-POP を始め Adele や Sia などに強い音楽的影響を受け、中学生には一度聴いただけで自分のモノに出来るほど感情豊かに歌えるようになる。その後、ロサンゼルスに拠点を置きアーツスクールに通いながらネットワークを広げ、音楽制作も行う。

2023年吉田次郎プロデュースによる様々な活動を準備中。

■中園亜美 : サックス



1986年鹿児島市出身。2007年洗足学園音楽大学 Jazz 科から Berklee 音楽大学へ編入。サックスを Walter Beasley らに師事。2009年卒業後、NewYork を拠点にアメリカ、ヨーロッパで活動。2014年より東京に拠点を移し、ソロとしての活動を本格的にスタートさせる。2015年10月サウンドプロデューサーに安部潤を迎え VEGA ミュージックエンターテイメントよりアルバム「Make It Happen!」を発売。2019年には倉木麻衣 20周年記念ホールツアーに参加。2020年6月に Key 竹田麻里絵との Duo ユニット“LE GRAND RETOUR”でシングル「GENE」のデジタルリリース後7月には初の配信ライブを成功させる。2022年5月より渋谷クロスFMにてラジオパーソナリティとして番組をスタートさせる。(毎週火曜夕方4時より「Jazz Sax Player 中園亜美の“Makin’ It Happen!”」クラシックのバックグラウンドと本場アメリカNYで磨いたセンスの二つを持ち合わせソプラノサックスをメインとした次世代を担うサックスプレイヤーの1人として日本のみならず世界中で活動中。

■ZENTY : ギター、マニピレーター



2022/12/31

セルリアンタワー東急ホテル
タワーズバー「ベロビスト」